

教職科目の目次 (2017年度以前の入学生用)

教職課程科目

商 業 教 育 法 ……	1
商 業 授 業 研 究 ……	2

ナンバリングコード B30TH-bacE-50-Le2 授業科目名 (時間割コード: 303810) 商業教育法 Commercial Teaching Methods	科目区分	時間割 前期水3	対象年次及び学科 2～経済学部
	水準・分野 B30TH	DP・提供部局 bacE	対象学生・特定プログラムとの対応 50
	授業形態 Le	単位数 2	
担当教員名 穴吹 忠義	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回+自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 商業(ビジネス)教育とは何か、その理念と内容を理解し指導方法について学ぶ。高等学校学習指導要領「商業」の解説を中心に、商業教育の歴史および商業に関する教科・科目の概要とその指導方法を学習し、高等学校における商業教育のこれからの展望を考える。			
授業の目的 教員の免許状取得のための必修科目			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 商業(ビジネス)教育の基本理念を理解し、商業に関する教育内容を体系的に分類・把握する。 2) それぞれの学習分野について基礎的・基本的知識と指導法を身につける。			
成績評価の方法と基準 学習指導要領に示された当該教科の目標や内容および教育課程の理解度により評価し、筆記試験(70%)、発表・レポートの提出(20%)、教材作成(10%)の割合で評価する。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。 【授業計画】 第1回: 高等学校教育の現状と商業教育・専門教科としての商業の意義を考える 第2回: 学習指導要領「商業」の内容と変遷・商業教育の歴史を調べる 第3回: 教科・商業科の目標・専門教科としての特色ある目標を暗唱する 第4回: 教科の組織(商業科の科目編成、分野構成)・分野別に20科目を体系的に考察する 第5回: 商業の科目体系、基礎的科目としての「ビジネス基礎」「ビジネス・コミュニケーション」の指導内容の要点・指導法を把握する 第6回: 総合的科目としての「課題研究」「総合実践」の指導内容の要点・指導法を把握する 第7回: マーケティング分野3科目の指導内容の要点・指導法を把握する 第8回: マネジメント分野3科目の指導内容の要点・指導法を把握する 第9回: 会計分野5科目の指導内容の要点・指導法を把握する 第10回: ビジネス情報分野5科目の指導内容の要点・指導法を把握する 第11回: 教科・商業の全分野についての学習内容の要点と発展的学習について ・商業教育の本質を考察する 第12回: 学習評価と観点別評価基準について・評価の重要性と評価方法を把握する 第13回: 教材作成の基本とプレゼンテーション(ICT機器、教材の活用を含む) ・自主教材を作成する 第14回: 教育課程編成の事例研究・理想のカリキュラム及び条件付きのカリキュラムを試作する 第15回: これからの商業教育のあり方・時代に対応した実学としての商業教育を考察する 定期試験(筆記試験) 【自学自習のためのアドバイス】 第2回 過去の学習指導要領の資料を集め、商業教育の歴史を調べて発表できるように準備する。(3時間) 第3回 「商業とは」についての小レポートを作成する。(3時間) 第4、5回 教科・商業科の目標を暗唱できるようにする。(4時間) 第5、6回 商業科の科目20科目を暗唱できるようにする。(4時間) 第6回 「課題研究」の指導内容の具体例を調べて発表できるように準備する。(4時間) 第12回 第13回の教材作成についての教材研究及び準備をする。(4時間) 第13回 第14回の教育課程の事例研究について、理想の教育課程を編成して発表できるように準備する。(4時間) 第14回 第15回の「これからの商業教育のあり方」について小レポートを作成する。(4時間)			
教科書・参考書等 教科書: 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(最新版 実教出版) 参考書・参考資料等: 授業中に適宜紹介します。			
オフィスアワー 水曜日午後2時30分から午後3時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 毎回出席をとります。15分以上の遅刻は欠席として扱います。			

ナンバリングコード B30TH-cbaE-50-Ee2 授業科目名 (時間割コード: 303820) 商業授業研究 Commercial Lesson Research	科目区分	時間割 後期水3	対象年次及び学科 2～経済学部
	水準・分野 B30TH	DP・提供部局 cbaE	対象学生・特定プログラムとの対応 50
	授業形態 Ee	単位数 2	
担当教員名 穴吹 忠義	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回+自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 授業での指導方法を学習する。授業の展開を計画し(PLAN)、学習指導案を作成した上で模擬授業を実践し(DO)、最後の評価し(CHECK)、次の授業計画に活かし向上する(ACTION)。			
授業の目的 教員の免許状取得のための必修科目			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 模擬授業を多く経験することで商業の主な科目で指導に必要な知識・技術・評価方法を身につける。 2) 自信を持って授業できるようにする。			
成績評価の方法と基準 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計をし、模擬授業の実施結果により評価し、発表・レポートの提出(20%)、教材の作成(20%)。授業実践(60%)の割合で最終評価をする。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
【授業計画】 第1回: 授業研究の目的と意義・よい授業の条件を考察する 第2回: 効果的な教材の作成および教材研究の要点・プレゼンソフトで教材を作成する 第3回: 作成した教材の発表(ICT機器、教材の活用を含む)・自作教材をプレゼン発表する 第4回: プレゼンテーションの技法と授業(ICT機器、教材の活用を含む)・教材を改善する 第5回: 授業の組み立てと学習指導案の事例研究および学習指導案の作成・指導案を試作する 第6回: 授業研究=高校現場での授業見学・実際の授業を見学して指導法を参考にする 第7回: 授業研究=高校現場での授業見学・実際の授業を見学して指導法を参考にする 第8回: 模擬授業・批評による授業研究【経済のしくみ】(板書等利用)・指導計画を実施する 第9回: 模擬授業・批評による授業研究【経済活動と流通】(板書等利用)・指導計画を実施する 第10回: 模擬授業・批評による授業研究【小売業者】(ICT利用)・プレゼン利用の指導を実施する 第11回: 模擬授業・批評による授業研究【卸売業者】(ICT利用)・プレゼン利用の指導を実施する 第12回: 模擬授業・批評による授業研究【企業と経営組織】(ICT利用)・プレゼン利用の指導を実施する 第13回: 模擬授業・批評による授業研究【売買取引の手順】(ICT利用)・プレゼン利用の指導を実施する 第14回: 模擬授業・批評による授業研究【売買計算】(板書等利用)・指導計画を実施する 第15回: 授業研究のまとめと教育実習について・模擬授業実施後の反省をする 定期試験(最終の模擬授業)			
【自学自習のためのアドバイス】 第1回 「よい授業とは」について小レポートを作成する。(3時間) 第2回 プレゼンソフトで見本の教材を作成する。(5時間) 第4回 作成教材の修正・改善をする。(5時間) 第5回 指導案の見本を作成する。(5時間) 第7回 高校現場での授業見学・観察をしての感想レポートを作成する。(2時間) 第8回～15回 模擬授業の準備及び反省記録の評価票を作成する。(40時間)			
教科書・参考書等 教科書: 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(最新版 実教出版) 参考書・参考資料等: 商業科目の文部科学省検定済みの高校の教科書			
オフィスアワー 水曜日午後2時30分から午後3時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 毎回出席をとります。15分以上の遅刻は欠席として扱います。			